【実施区域・面積】

茨城県、2.9ha

【生態系タイプ】

創出緑地

【実施区域の状況】

茨城県鹿島臨海工業地帯に位置する花王(株)鹿島工場敷地内の緑地であり、樹林帯や裸地･草地エリアを有する。東は鹿島灘、西は市街地･神之池に挟まれ、多様な鳥類の往来が見られる。
1980年の工場建設当時より、将来を見据えた緑化計画による植樹管理を行い、埋立地に階層豊かな、生物多様性に富んだ森に成長している。
緑地の一部は「社員の森」と称し、工場建設当時から在籍社員一人一人が自分の選んだ木を植樹し育成する活動を現在も継続している。現在植樹エリアには、140種類以上の木が植樹され、野鳥63種、昆虫類132種が確認されている。また、社員の健康増進や社員家族、工場ＯＢ、地域の子どもたちを対象した環境教育イベントや他企業・他団体との情報交流の場として活用している。

【目標】

・希少種を含む在来種を中心とした多様な生物・植物が生息・生育する緑地として維持する
・緑地を活用した地域住民や社内・外における環境教育への貢献をはかる。

【主な活動内容】

・希少種の食草･食樹エリアの保護･拡大
　（ｼｮｳﾘｮｳﾊﾞｯﾀﾓﾄﾞｷ：チガヤ群落づくり／タマムシ：エノキの保護・植樹数拡大 等）
・ 外来植物の減少による在来種を中心とした植生エリアの確保（駆除,必要に応じて種の入替）
・ 新転入社員の記念植樹による樹木階層・生物多様性豊かな森づくりの継続
・ より多くの種にとっての生活環境となる場の提供（野鳥の餌台、水場設置等）
・ 定期モニタリングによる環境・生息状況の把握
・ 化学薬品・肥料の使用抑制、間伐材やコンポスト利用による自然循環の推進

【モニタリング計画】

・これまでは鳥類（年４回）、昆虫類（年２回）について毎年調査を実施していたが、
2025年からは３年に１回、鳥類（年３回）、昆虫類（年２回）、植物（年２回）の実施計画。
※添付４_モニタリング計画のとおり

【実施体制】

花王(株)鹿島工場 ： 全体管理（管理計画立案含む）、環境イベントの企画・運営
(一社)茨城県環境管理協会 ： モニタリング調査、生物多様性を意識した緑地管理に関する助言、環境教育イベント開催時の協力支援
内山緑地建設(株) ： 工場緑地の保全管理













【計画期間】

令和７年９月～令和12年８月